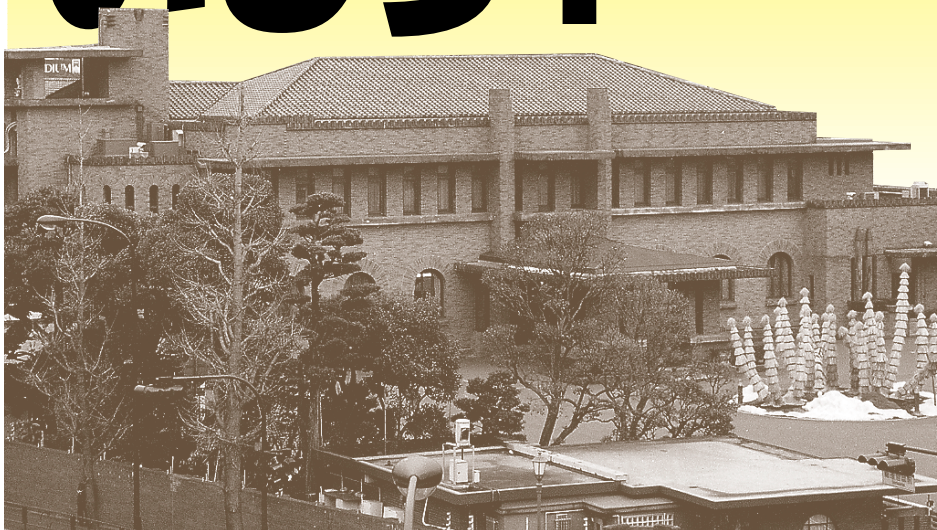


え! 景気対策

そっちのけ

公務員制度 いじり?



政府の公務員制度改革は

高級官僚の
天下りを自由化

「営利企業への天下りは厳しく規制」といいながら、その中身は、大臣が認めればどこへ天下るのも自由。特殊法人などはおかまいなし。法律や予算をつくる企画部門には、大企業などから大量に採用。これで、公正な行政になるのでしょうか。

「キャリア制度」は
そのままに

国家公務員 種試験合格者でなければ、各省の幹部になれない「キャリア制度」。今回の改革でもまったく手つかずです。そればかりか、政治家と一緒に政策をつくる「国家戦略スタッフ群」は、キャリアの中から^{ぼってき}抜擢するといっています。政権党だけに目を向ける公務員を特別扱いしようというのです。

これでは、「政官財」ゆ着はなくなりません。
KSD事件や「岡光」事件は「許せない」という声は、
政府に届いていません。

公務労組連絡会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5-11
神保町センタービル7F
TEL03(3234)0025 FAX03(3237)7232
E-mail:komuroso@nifty.com
【加盟単産】自治労連、全教、国公労連、郵産労、特
殊法人労連、福祉保育労

国公労連

日本国家公務員労働組合連合会
〒105-0003 東京都港区西新橋1-17-14リパティ
14ビル3F
TEL03(3502)6363 FAX03(3502)6362
[URL] <http://www.kokko-net.org/kokkororen>
E-mail:kokko@mxu.mesh.ne.jp

民間企業への天下りは、 今すぐ廃止を

各省庁が、公務員の再就職を「あっせん」する「天下り」、特殊法人や民間企業をわたりあるき、退職後の生活保障を受ける高級官僚。退職後のことに気をとられて、「全体の奉仕者」としての仕事はできません。「天下り」は、行政をゆがめる温床です。



シンショウヒツバツ

競争と選別の成果主義では

「キャリア制度」で、今でも公務員の人事管理はゆがんでいます。20代、30代の税務署長や警察署長を、50代のノンキャリアが支える、試験結果だけの能力主義です。この上、シンショウヒツバツ信賞必罰の人事管理を持ち込んだら……。

成果主義を導入した民間企業で「評価ばかり気にする社員」が問題になりはじめています。

「上司の目」を気にする公務員がふえることで、行政サービスが本当によくなるとは思えません。

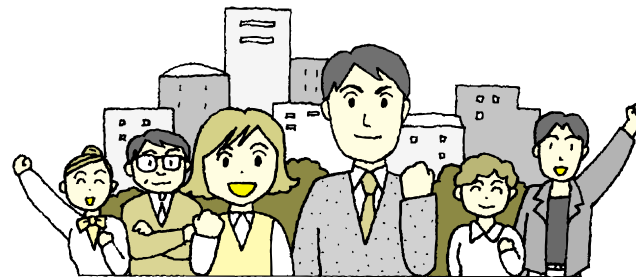
そのためにも

公務員の役割を果たしたい

きちんとした働くルールを 公務員にも

「本省庁の公務員、8人にひとりが過労死寸前」、こんな調査結果があります。「何らかの対策を」と政府に要求してもまともに取り合ってくれません。労働者なら認められている、労働基本権が制約されているからです。

公務員も労働者です。労働基本権や残業規制など「働くルール」の保障、内部から不正を告発する権利などは、まともな行政への第一歩です。



民間の労働者も公務員も、「賃金・労働条件の破壊は底なし」ということでは、この国の社会・景気はよくなりません。働くものの暮らし、労働条件の向上をめざし、力をあわせましょう。

みなさんのご意見をお寄せ下さい。

公務労組連絡会 | 国公労連